

# 日本人エンジニアのための プロフェッショナル・エンジニア(PE) ハンドブック

The Handbook of  
Professional Engineer license  
for Japanese Engineers

サンプル



2012年6月

NPO法人 日本プロフェッショナル・エンジニア協会



# 目次

1. まえがき
2. 米国PEライセンスの概要 ～ 制度、歴史
  - 2.1 米国 PE は州ごとに交付されるライセンス
  - 2.2 米国内での PE 制度標準化 – Code of Ethics, Model Law, and ABET
  - 2.3 PE 制度の米国外への広がり
  - 2.4 Engineerの定義
3. 米国 PE の詳細 – 試験、登録、更新
  - 3.1 PE 試験および FE 試験
  - 3.2 業務経験申告と PE リファレンス
  - 3.3 州法および技術倫理に関する試験
  - 3.4 PE登録 (PE ライセンスのライフサイクル)
  - 3.5 ライセンス更新、CPD 要求
4. 日本におけるPE試験
  - 4.1 オレゴン州試験開始以前 – before 1994
  - 4.2 オレゴン州試験時代 – 1994 to 2005
  - 4.3 NCEES / JPEC 試験 – since 2006
  - 4.4 日本人PE取得者の現状 (日本人エンジニアが PE 取得することの価値・意義)
5. PE 制度の今後の展開
6. PE 受験・登録 Q&A
7. 各州 PE 法の解説および会員受験・登録体験記
8. 結 言
9. 参考文献 および 参考資料集
10. 謝辞

## 6. PE 受験・登録 Q&A

日本人エンジニアのためのプロフェッショナル・エンジニアハンドブック(以後 HOPEJE と略称)には米国 13 州に関する PE 法や登録体験が多数掲載されています。PE 登録に関する詳しい作業内容等が非常に充実しています。そちらを是非ご参照ください。

また PE 試験に関する詳しい情報は JPEC ホームページ [www.jpec2002.org](http://www.jpec2002.org) を合わせてご参照ください。

### Q1. 何故PEになる必要があるのでしょうか？

米国でエンジニアとして活躍したい人は持っておいた方が良いでしょう。特に、コンサルタント業務や公共事業にかかわる業務では PE ライセンスが必須となります。

米国や海外でエンジニアとして就職する際は有利となるでしょうし、米国では PE ライセンスを持っている方が収入が多いという統計もあります。PE ライセンス保持者へ手当やボーナスを支給している企業もあります。

名刺の名前の後ろに“PE”と書かれていることはプロフェッショナルの証であり、また倫理観、エンジニアリング能力および適性を備えていることの暗黙の証明となります。

また、PE となり JSPE の様々なイベントを通じ業種を超えた知合いや知識が増え、エンジニアとしての幅を大きく広げることができるでしょう。

(参照) HOPEJE 4.4 日本人 PE 取得者の現状(日本人エンジニアが PE 取得することの価値・意義)

(参照) JSPE ホームページ内 “PE になる 10 の理由” [www.jspe.org/01\\_11pe.htm](http://www.jspe.org/01_11pe.htm)

### Q2. PEになるための手順を教えてください

大まかな流れは次のようになります。

①学歴条件を満たす ②FE(EIT)試験に合格する ③業務経験条件を満たす ④PE 試験に合格する  
⑤PE 登録を行う

(参照) HOPEJE 3.4 PE 登録(PE ライセンスのライフサイクル)

(参照) JSPE ホームページ内 “PE 資格取得のステップ” [www.jspe.org/01\\_11\\_2pe.htm](http://www.jspe.org/01_11_2pe.htm)

### Q3. 日本ではPEに関する団体が2つ(JPEC, JSPE)ありますが、どう違うのでしょうか？

JPEC (日本 PE・FE 試験協議会)は、全米技術試験協議会(NCEES)との協定に基づき、日本在住者向けに米国 PE/FE 試験を実施している NPO 法人(内閣府認証)です。 [www.jpec2002.org](http://www.jpec2002.org)

JSPE(日本プロフェッショナルエンジニア協会)は PE 資格保有者、及び PE 取得を目指すエンジニアの為に、PE 資格の保持・取得のサポート、エンジニアの地位向上、Engineering Ethics 等の普及を目指す NPO 法人(東京都認証)です。<http://www.jspe.org/>

### Q4. 日本の技術士資格を持っていれば PE 試験を受けずに PE 登録できますか？

日本の技術士と米国 PE との間には今のところ相互認証制度がありませんので、技術士の資格を持っていたとしても PE 試験免除はありません。

Q5. PE 登録はどの州にすべきでしょうか？

どの州に登録してもPEに違いはありません。しかし州によっては市民権やその州に在住していることなどを PE 登録の条件としている場合がありますので、自分が登録可能な州を探す必要があります。なお登録条件は各州ボードのホームページで確認することが可能です。

もし特定の州に登録されているPEしかエンジニアとして認められないプロジェクトに従事しているのならば、その州への登録を目指すのが良いと思われます。

Q6. 登録する州によってPEに違いがあるのでしょうか？

FE 試験、PE 試験は一部の特殊分野を除き全米共通です。州による違いは、PE 登録要件のうちの試験以外の部分(学歴、業務経験、居住/非居住など)、登録・更新料金、PE ライセンスを必須とする業務や分野の解釈、実務規範に違反した場合の罰則規定などです。

Q7. PE登録に必要な書類は何でしょうか？

登録申請書一式、卒業大学より成績証明書(Transcript)、履修課程説明書(Course Description)、リファレンス(業務経験を証明してくれる人)、NCEES の試験合格証明、ABET 学歴審査書 などが必要となります。

Q8. PE試験に合格しましたがまだ登録が済んでいません。いつまでに登録を済まさなければならないのでしょうか？

一般に PE ライセンスは 2 年に一度更新することから、2 年以内に登録することを推奨します。

Q9. 米国社会保障番号(SSN)が無くても PE 登録は可能ですか？

各州とも公的ライセンス登録は SSN を伴うことを原則としていますが、州によってはライセンスボードの判断により SSN 非保持の外国人の登録を許容しています。各州の情報を確認ください。

Q10. リファレンスは何人の方からもらう必要がありますか？

リファレンスは計 5 名、内 3 名は PE であることが概ね要求されます。

(参照) HOPEJE 3.2 業務経験申告と PE リファレンス

Q11. 身近にリファレンスをもらえるPEの人がいせんがどうしたらよいのでしょうか？

一般に、業務上の付き合いのみならず社外活動(JSPEセミナーを含む)を通じて一年以上技術的な関係のあった PE であれば推薦人になれますので、PE と触れ合える機会を探して下さい。

なお、JSPE では毎月各種セミナーやワーキンググループ等、PE の方々との交流できる場を多々企画していますので、是非御利用ください。

Q12. リファレンスは社内の上司でないといけないのでしょうか？

推薦人になっていただく方は勤務先の社内、社外であるかは問われません。ただし少なくとも申請者の技術的能力を知っていることは求められます。

- Q13. リファレンスは登録しようとしている専門分野が同じPEからもらう必要がありますか？  
州によっては自分と専門分野が同じPEからの推薦を要求しています。登録予定の州の法律を確認してください。
- Q14. ABET とは何ですか？  
ABET (Accreditation Board for Engineering and Technology [www.abet.org](http://www.abet.org)) は米国内の技術系、工学系大学課程の第三者認定を行う非政府機関です。米国では ABET 認定かどうか工学系大学コースの品質を見極める一つの目安となっています。  
(参照) HOPEJE 9 [資料 2](#) ABET Engineering Education Accreditation Criteria
- Q15. 業務経験が 8 年以上ありますが、ABET 学歴審査は不要ですか？  
州によっては今のところ不要としているところがありますが、原則必要と思っていたほうがよいです。
- Q16. 日本の大学課程で ABET 認定を受けたところはありますか？  
2012 年 3 月現在ではありません。なお ABET ホームページ ([www.abet.org](http://www.abet.org)) ではどの大学のどのコースが ABET 認定かを確認することができます。  
なお、日本での同種機関である JABEE は ABET と似た認定基準をもとに日本の大学工学課程の認証を行っていますが、日米での工学教育文化の違いなどもあり、ABET と相互認証とはなっていません。  
(参照) HOPEJE 9 [資料 2](#) ABET Engineering Education Accreditation Criteria
- Q17. PE になるためにはどのような学歴が要求されていますか？  
ABET 認定のエンジニアリング課程の卒業(学士)が基本的に要求されます。  
(参照) HOPEJE 9 [資料 2](#) ABET Engineering Education Accreditation Criteria
- Q18. PE 試験の合格証書は NCEES から送付された Certificate of Achievement で良い？  
一般にその Certificate とは別に、NCEES から州ボードへ証明書を直送してもらう必要があります。
- Q19. PE になるためには業務経験が必要ですか？  
一般に 4 年以上のエンジニアリング業務が必要です。
- Q20. 大学院修士課程、博士課程は業務経験に含むことができますか？  
修士課程は 1 年、博士課程は 2 年の業務経験として扱われることが多いです。詳しくは各州の法律を確認下さい。
- Q21. PE 登録に関する情報はどこから入手できますか？  
PE 登録に共通の要件は NCEES の Model Law/Rule におおむね網羅されていますので、確認下さい。  
(<http://www.ncees.org/> → Model Law and Model Rule)  
また、各州ボードの提供する州法などの情報を確認ください

Q22. PE ライセンスは維持費がかかりますか？

PE ライセンスは1年もしくは2年ごとに更新が必要となり、その際更新料がかかります。州によりその費用は異なります。

また、PE ライセンス更新時には PDH (Professional Development Hour) 時間数の申告が必要となります。PDH を得るために参加するセミナー受講料なども必要維持費と考えられます。

(参照) HOPEJE 3.5 ライセンス更新、CPD 要求

Q23. PE試験や登録に関する説明会はありますか？

JSPE では PE 説明会を不定期ですが開催しています。また、出前セミナーも募集しています。詳しくは JSPE ホームページをご覧ください。

## Engineer's Creed

As a professional Engineer, I dedicate my professional knowledge and skill to the advancement and betterment of human welfare.

I pledge:

To give the utmost of performance;

To participate in none but honest enterprise;

To live and work according to the laws of man and the highest standards of professional conduct;

To place service before profit,

the honor and standing of the profession before personal advantage, and the public welfare above all other consideration.

In humility and with need for Divine Guidance, I make this pledge.

Adopted by

National Society of Professional Engineers June, 1954



## エンジニアの信条

私は、一人のプロフェッショナル・エンジニアとして、自分の持つ専門知識と技術を、人類の福祉の発展とその向上のために捧げることを目的として、以下を誓います。

- 最大限の努力を払います
- 誠実な仕事にのみ参画します
- 人間が守るべき普遍的原則、および専門家としての最高の規範に従う生き方をし、糧を得ます。
- 金銭を得ることよりも奉仕の精神を優先させ、また個人的な利益よりも専門家としての名誉と立場を優先させ、さらに公共の福祉を全てに優先させます。私は、神の導きに従い、謙虚な気持ちをもって、上記の全項目について、ここに誓います。

(1954年7月 全米プロフェッショナル・エンジニア協会 制定)

(2001年3月24日 日本プロフェッショナル・エンジニア協会 和訳)